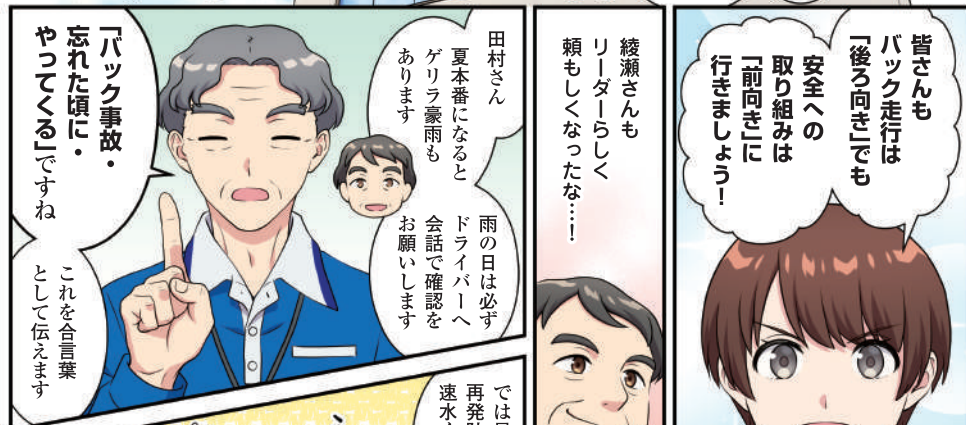
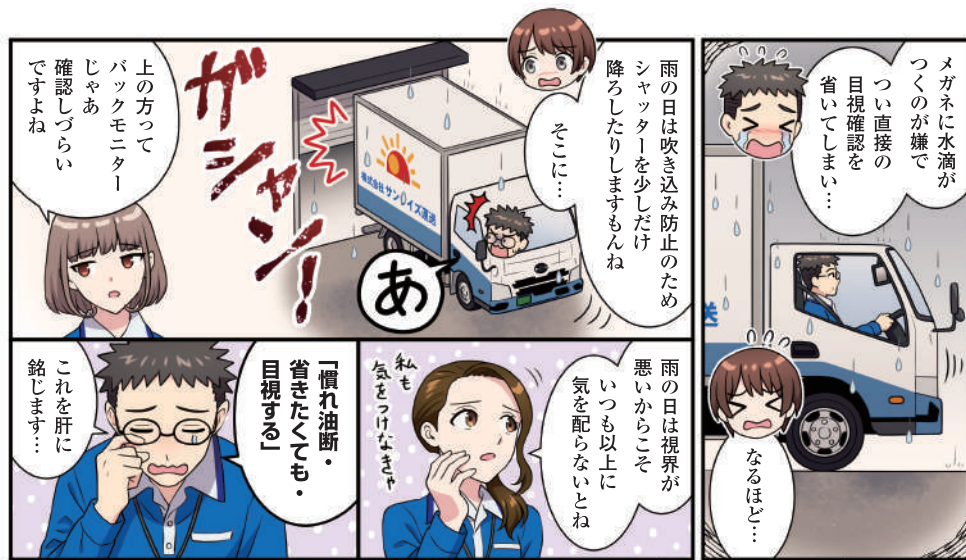




バック事故防止対策は解説ページで

今日も一日安全に! トラックドライバー日誌 2

現場を知るドライバーから、管理者へと歩みを進めた速水。リーダーとして仲間の先頭に立つ綾瀬ドライバー。管理者やドライバーに求められる取り組みを、それぞれの視点から紹介していきます。

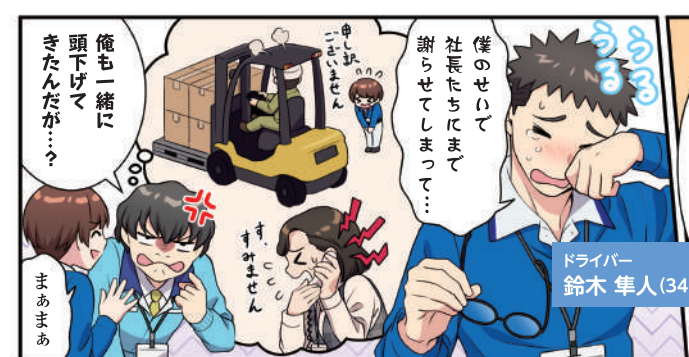
第4話

「降りて、見て、指差して」そのひと手間で死角ゼロ

このたびは弊社のドライバーがご迷惑をおかけしまして…

本当に申し訳ありません!

サンライズ運送社長 日ノ出 誠一



「降りて、見て、指差して」そのひと手間で死角ゼロ

無事故継続中だからこそ、「ひと手間」を省かない

社内でどれほど確認の重要性を指導しても、無事故が続くと「もう確認しなくても大丈夫だろう」という錯覚に陥ることがあります。そして、その油断から確認を省いた瞬間に、バック事故は起きてしまうのです。

①まず目視

降車もしくは窓を開けて目視で周囲の状況を確認



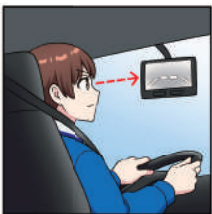
②つぎにミラーで

ハンドルを切りながら後退の状態ではサイドミラーで確認



③あとモニター

あとはまっすぐ後退の時点からモニターで確認



窓開け&サイドミラー確認&モニターチェック

⇒働く時間に大差なし

マンガ制作：トレンド・プロ



仕事とは面倒なことをやる時間

極論すれば、仕事とは「面倒なこと」をやる時間でもあります。その面倒なこと、積み重ねが「作業の手順」であり、言い換えれば「面倒でも決して省いてはいけない安全の順番」なのです。バック走行時の手順としては、「まず目視・つぎにミラーで・あとモニター」の順に行う3M確認がお勧めです。降車や窓開けにより直接目視して、車体が斜めの状態では対角を助手席側のサイドミラーで確認。まっすぐ下がるだけになったときに距離合わせをバックモニターで確認します。くれぐれもモニターを注視し過ぎて、事故による運行中止にならないように！途中で不安を感じたら、最初の手順に戻りましょう。これは基本であり、外せない安全行動です。



バックは「宿命」、確認は「使命」

車長が長いトラックは小回りが利きにくい。構内での接客や退出時の方向転換を含めて、バック走行はトラックドライバーにとつての宿命です。だから、バック事故防止のため降車を含めた後方確認は使命と考えましょう。大きくて四角いトラックには多数の死角があるため、バック走行前に降車をせず、直接目視もしないのでは、安全を守ることはできません。車長が長いからこそ、降車確認を面倒ではなく「必須」と位置付けて、プロとしてバック前に確実に降りて確認する姿をお客さまに魅せましょう。

バック事故をゼロにする「3つの間」

ドライバーによる死角を視界に変える、確認という努力によってバック事故は防ぐことが可能といえます。「時間」を惜しまず「ひと手間」かけて「空間」を確認する、この「3つの間」を実践しましょう。



降車して後方確認:29秒

車両ひと回り確認:37秒

わずかな時間、けれど、一生を左右するひと手間

※対象は全長約12メートルの大型車。あくまでも平均の所要時間。



そのひと手間が無事故に結実

バック事故は、確認さえすれば防げるはず。しかし起こしてしまえば、「もう一度止まって降りて見ていれば」という、100%の後悔に襲われます。そのため、「確認する」の対義語は「後悔する」とも表現できるでしょう。特に忙しいときには、確認を面倒に感じることもあるかもしれません。しかし急ぐときほど、そのひと手間をかけましょう。人の一生の期間と比較すれば、確認に要する秒数はわずかな時間、つまりほんのひと手間なのです。確認を省いて起きた事故は後悔につながります。出先の車内でも「生の後悔」よりも「ひと手間をかける」ことを選択しましょう。「バック走行は嫌い」ではなく「バック走行は怖いもの」と恐れることが大切です。初心者の頃を思い出し、初心者になったつもりで臨むくらいで、ちょうど良いでしょう。

「確認」の対義語は「後悔」。
会社を守る、バック事故ゼロへの鉄則

管理者・トラックドライバー、双方の視点から必要な心構えや事故防止ノウハウを紹介していきます。



高柳 勝二 (たかなが かつじ)

株式会社 プロデューズ代表取締役。1990年、運送会社にドライバーとして入社し、管理職を経て18年間勤務。2008年に株式会社 プロデューズ設立。中小運送会社からの依頼が多い「提案型」研修は、受講されたドライバーや管理者からの「おもしろい」「眠くならない」「分かりやすい」との評判が口コミで広がり、各都道府県のトラック協会や協同組合等の研修会でも講演多数。2016年度から2022年度まで国土交通省「自動車運送事業に係る交通事故対策検討会」委員。